

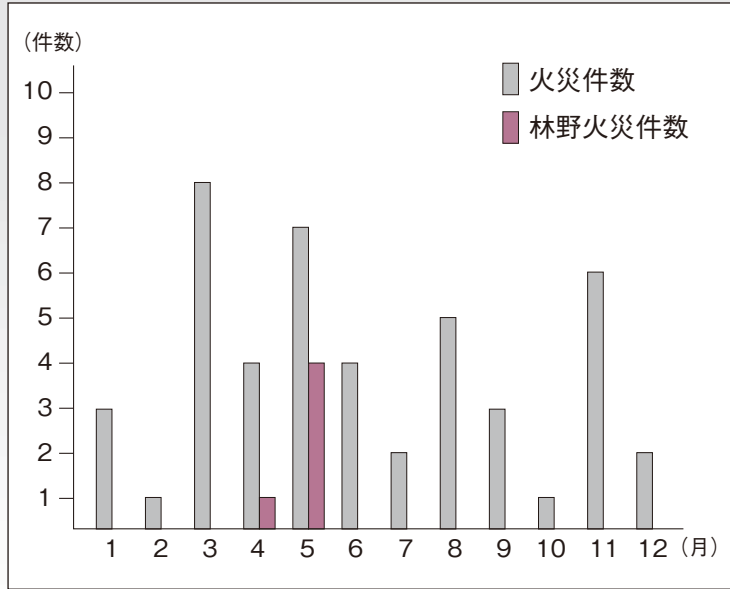
防ごう山火事

この季節は空気が乾燥しやすく風の強い日が多いです。そこで注意しなければならぬのが「山火事」です。

もっとも危険な季節

高山市における平成21年の林野火災件数は、4月と5月に集中しており、損害面積は約63アールでした。

■月別の火災発生件数(平成21年)



予防課資料

この時期に集中した理由は「空気の乾燥」です。さらに発生した時間帯は5件の火災すべてが午後でした。なぜなら午前中はまだ湿度が高いものの、午後になって気温の上昇とともに湿度が下がってくるからです。

一人ひとりの注意で防げる

林野火災の出火原因は全国統計によると、たき火・たばこの不始末・火入れが上位を占めます。つまり林野火災は人的な要因で発生しているのです。

この時期は、山菜採りやハイキング、魚釣りなど野山へ出かける機会が増えるため、ちょっとしたたばこのポイ捨てが取り返しのつかない林野火災につながってしまいます。

消火活動が困難な林野火災

いったん発生した林野火災は、消防水利の不足や火災現場へのアクセスが良くないことなど、消火活動が困難で、被害が広範に及ぶ危険性が高まります。平成14年4月に岐阜・各務原市境で発生した林野火災の被

害面積は、約410ヘクタールに及びました。

火災警報発令時は要注意

市では、空気が乾燥し火災発生の危険性が高まったときに、防災行政無線の屋外拡声器でサイレンを鳴らし、火災警報の発令をお知らせします。

(安全安心メールや高山防災ラジオなどでもお知らせします)

火災警報発令中は、屋外でのたき火、野山での喫煙、火入れは禁止されますので、火の取り扱いにはできません。



消防署では、水利の乏しい野山での消火訓練を行い、いざという時に備えています。

せん。

山火事は貴重な森林資源を失うばかりでなく、一度焼失すると再生するまでに長い年月を要します。一人ひとりの心がけで火災予防につとめましょう。

問合せ先

予防課
☎32-3027

火入れには届出が必要で
す。詳しくはお近くの消
防署・分署・出張所まで
お問い合わせください。